平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ６４ ※記入不要	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター

要望問題

きゅうりにおける黄化えそ病（ＭＳＷＶ）の防除対策

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

平成１４年以降、施設きゅうりにおいて、メロン黄化えそウイルス(ＭＳＷＶ)と思われるウイルス病が発生し、収量の低下など大きな問題となっている。
現在、生産現場でも光反射シートの利用やＵＶカット資材の検討、栽培終了後の片付けも含めた作付け時期の統一など各種対策を検討しているが、感染経路の解明と併せた総合的な対策検討が求められている。

ＪＡ湘南施設野菜部会　１１３名　2,２５８ａ

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	農業環境部
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
病害虫の診断・同定及び防除対策の確立
（3）難防除病害虫に対する防除法の確立

対応の内容等

MYSV 等トスポウイルスによる病害の診断・同定に関しましては上記課題にて取り組んでおります。
本ウイルスはミナミキイロアザミウマが媒介主体であることが知られており、媒介昆虫のコントロールが重要とされております。キュウリにおけるミナミキイロアザミウマの発生消長や生態については病害虫防除所が本ウイルス病発生現場において重点調査を行っており、防除所とも協力してウイルス病感染環を明らかにするとともに、それら結果を基に総合的な防除対策について検討いたします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	